

あなたの納めた税金は

決算審査・

養護老人ホーム事業会計
収入の部、サービス収入4億4,649万で総額に対する割合81%分担金及び負担金収入(生きがよいデイ・ふれあいショートステイに対する町からの負担金、国からの支出金、介護職員処遇改善交付金

介護保険事業
歳入総額15億9,410万と、その主なものは、介護保険料2億2,095万、国庫支出金4億1,108万円が主なものである。歳出総額15億3,356万円での主なものは総務費4,993万、介護給付金費14億3,256万円となっている。前年度に比べ3,654万の増額となっている。平成23年度現在の被保険者65才以上は、4,016人で、一人当たり介護給付費35万円、要介護認定者852人、一人当りの介護給付費168万となっている。

健康福祉課
民生費の歳出決算額は15億2,579万円で前年比4,927万円で構成比22.6%となっている(3.3%の伸び)。衛生費の歳出決算額は、6億1,411万円で前年比9,801万円減となっている。福祉係の主なものは、ねんりんピック362万円、老人クラブ補助金407万円が補助金として執行されている。高齢者表彰として、金婚夫婦68組、ダイヤモンド婚22組、100才7名、米寿99名の表彰式90万円の支出となっている。

厚生常任委員会

委員長 杉村 幸敏

どのように使われたのか!

各常任委員会報告

総務文教常任委員会

委員長 古閑 修一

平成23年度一般会計歳入総額72億3,142万3千円。歳出総額67億6,527万5千円。年度末積立基金約58億。

町税収入

町民税2億8,324万3千円。固定資産税4億3,900万8千円。軽自動車税3,576万8千円。町たばこ税4,515万7千円。入湯税411万6千円。

電子計算費

総合行政システムASP利用費2,536万9千円。これまでの自庁サーバー型と比較して年間400万円のコスト削減となっている。

交通安全対策費

カーブミラー6箇所、ガードレール6箇所(67m)、区画線5箇所(192m)他、整備費211万円。

消防費

有明広域事務組合消防負担金1億5,925万6千円。耐震性防火水槽の新設6箇所(国庫補助1/2)、町単独2箇所設置の3,735万1千円。小型可搬ポンプ積載車1台の更新費445万2千円です。

企画室

地上デジタル放送共聴施設補助事業4,157万6千円(新設13、改修1施設)、路線バス維持補助金2,980万円。新婚さん定住促進事業奨励金240万円(16組)。

組)。

国民健康保険事業会計

歳入17億1,744万1千円で歳出15億8,321万6千円。国保税収1人当りの調停額は、7,831円となっています。今後とも、保険予防事業に力を入れて行く必要があります。現在支出に見合った税率の改正についても検討中。

学校教育課

学校統合対策調査費、菊水地区造成工事費合計で8,411万9千円。次年度繰越で1億1,161万2千円。

三加和地区造成工事費8,824万1千円(次年度繰越)、建設設計業務依託料1,606万5千円。敷地造成費3,396万8千円。

社会教育課

放課後子ども教室(7校実施)177万7千円。両公民館図書室の改修費831万2千円(光をそそぐ交付金活用)。三加和公民館の床下地盤改修工事費2,391万3千円となっている。

奨学金事業会計

歳入は、646万円で経済状況の悪化により奨学金の返還が遅れている状況です。歳出決算額は、588万円です。



建設経済常任委員会

委員長 豊後 力

建設経済常任委員会は、9月18日、所管の経済課と建設課の一般会計及び簡易水道事業、下水道事業、特定地域生活排水処理事業の特別会計決算審査を行った。

経済課

農家台帳システム導入委託料として11,392千円の支出。鳥獣被害防止総合対策事業負担金35,882千円。広域的な防護柵の設置によりイノシシ等の被害対策を行い受益戸数は、105地区で753戸、受益面積296.6haの対策が行われた。土地利用型農業緊急支援事業(県単独事業)として総事業費6,888千円(県3,444千円・事業主負担3,444千円)岩集落営農組合でトラクタ1(65馬力)を導入しております。

中山間地域直接支払事業費として60,659千円・協定53集落、面積663ha(田394ha・畑269ha)の実績この事業は農地の維持及び農村環境の保全に努める事業であります。

県営補助整備事業費34,387千円については大田黒工区と大平・矢部谷工区の一部を施工。

農地流動化地域推進事業は、町単独の事業で農地の利用集積を通して、農業経営の規模拡大、認定農業者等の担い手の育成の為に必要事業といえる、23年度は12,017千円の支出。

農地・水・環境保全向上対策事業の交付金の総額は、19組織11,407千円平成24年度より新たな事業として継続された。林業総務費として有害鳥獣捕獲委託1,698千円イノシシ捕獲頭数菊水地区33頭・三加和地区125頭計158頭、前年度181頭。

林業振興費については総額20,144千円の支出、主な事業として間伐作業道開設に12,673千円間伐促進事業補

助金2,800千円が支出された。

建設課

土木総務費は、国道、県道関係の負担金や土木補助、48,534千円(行政区31件、団体施工20件)この事業は地域の負担軽減につながり有効な事業である。道路維持費として69,859千円(繰越明許費含む)の支出、32力所の側溝整備事業が成された。

道路改良費では、総額185,200千円事業として測量設計業務委託7路線、改良工事9路線15,225千円、道路改良工事138,831千円、公有財産購入費4189千円が支出された。

補助事業(繰越明許含む)として用木(米渡尾線)に132,654千円が支出され改良が行われた。

住宅管理費として16,845千円の支出、6団地、36棟、98戸を管理、老朽化に伴う管理費がかさむが住民の居住促進のために必要な事業と思える。

簡易水道事業会計

歳入総額51,335千円、(使用料及び手数料19,123千円、繰入金20,923千円、繰越金10,876千円)歳出総額34,989千円、差し引き16,346千円であり繰入金に依存状況である。

給水戸数は若干の増加を見ているが今後の事業促進を望みたい。前年度給水戸数438戸23年度末443戸5戸増。

下水道事業会計

歳入総額115,252千円(繰入金72,409千円)歳出総額105,844千円。差し引き9,408千円。今後も加入促進を図るよう願う。

特定地域排水処理事業会計

この事業も繰入金に依存であるが衛生管理上重要な事業であり事業促進を望む。特別会計事業については多額の繰入金が使われているが住民生活の基本となるものであり、健全な自助努力を願い、建設経済常任委員会の決算審査報告とする。